

## 登別市環境保全市民会議の活動

# 美しい自然とわたしたちの生活環境を守るろう

地球の温暖化は、気温や海面の上昇などにより、将来、人間の生活を脅かすと予測されています。

市は、自然環境と生活環境を守ることをテーマに『登別市環境保全市民会議』を立ち上げ、意見交換や実践活動を行ってきました。

今月号では、地球の温暖化防止の必要性や市民会議の活動の様子をお知らせします。

## 地球が温暖化するとどうなるの

地球の温暖化で気温が上がると、南極や北極の氷の融解や、海水の温度上昇に伴う海水の体積の膨張により、海面が上昇するといわれています。

このため、おいしいお米がとれなくなったり、寒水性のサケなども捕れなくなったりします。

また、海岸線では、砂浜が減少したり、高潮や津波の危険地帯が増えたりすることになります。

## 地球の温暖化はなぜ起こるのでしょうか

地球の周りには、二酸化炭素や窒素、メタンなどのおかげで地球の平均気温は約15度に保たれています。そして、これらの気体は『温室効果ガス』(※)と呼ばれています。

18世紀後半に始まった産業革命により石油や石炭などの使用が増え、

二酸化炭素の量は、20年前と比べて約30%増加しました。これからも同じように使い続けると、21世紀後半には、二酸化炭素の量が現在の2倍以上になり、平均気温は1・4〜5・8度上昇すると予測されています。

※温室効果ガス：大気中の二酸化炭素やメタンなどのガスは太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあります。これらのガスを温室効果ガスといいます。

## 環境を守るための市の取り組み

市は、『市民・事業者・行政の協働』をキーワードに環境保全活動を積極的に推進しています。

この中核となり、積極的な意見交換や実践活動を推進しているのが『登別市環境保全市民会議』です。

今年5月で3年間の任期を終えた同会議の委員を代表し、会長を務めた仲川弘誓さんに取り組みの様子や感想などを伺いました。

## 3年間の活動を振り返って

「3年間で数多くの環境問題が提起されました。環境という言葉は日常よく耳にしますが、『環境とは何ですか?』とあらためて聞いたことがあると、あまりにもその言葉の持つ範囲が広すぎて、いったい何から取り組めばいいのか、会議を進めるのに戸惑いました」



▲会議を進める仲川会長

## 市民会議ではどのような問題が提起されましたか

「市で制定している環境基本条例で『環境』とは、『野生動植物が主

体となる自然環境と人間が主体となる生活環境』と定義しています。この定義に基づいて環境問題を考えると、ありとあらゆるものが対象となります。市民会議では家庭における節電から自然界に至るまで、実に幅広いものが対象となります。そこで、市民会議では自分たちが実践できる『ちょっと気になること』に絞り込み議論してきましたが、多種多様な問題が数多く提起されました」



▲市民会議の様子

## 具体的にはどのような活動を展開してきましたか

「市民会議には、『地球温暖化防